

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

ものづくりの現場を守り、生活者の目線で働く
みんなの思いを国会へ「村田きょうこ」支援を訴える

JAMシニアクラブ大山会長メッセージ



7月に投開票の参議院議員選挙に向かって、JAM、同シニアクラブ推薦の「村田きょうこ」候補予定者は、「ものづくりの現場を守り、生活者の目線で働くみんなの思いを国会に届けたい」との思いで、笑顔絶やさず精力的に全国を駆け巡っています。

「村田きょうこ」候補予定者は、「大切な人の命や健康を守る社会」「安心の社会保障制度」を政策に掲げ、「雇用秩序を回復し、

安心して老年期を迎えることのできる国づくりと、国民生活に最も身近な医療や介護の充実」を訴えています。その中で、医師や看護師の不足、慢性的に不足している介護人材の課題を挙げ、「医療現場で働く者全体の処遇の改善」「国の主導の下で介護士の処遇改善」を重視していることは、JAMシニアクラブ会員の声であり、新型コロナウイルスであらわになった医療と介護のもろさを克服するため重要な課題です。

「村田きょうこ」候補予定者は、立憲民主党の比例候補で本番にのぞみます。ロシアは、ウクライナを侵略し、子供をも殺す目を覆いたくなるほどの残虐な行為を行い、核兵器の使用で全世界を威嚇しています。このロシアの国連憲章、人道法違反の蛮行で、日本の安全保障に関して「専守防衛」に反する「敵基地攻撃能力の保有」や防衛費倍増が必要だと、自民党が提言しています。岸田首相は、参議院選挙で信任を得たら年末に作成の「国家安全保障戦略」にこれらを反映するとし、憲法9条改憲にも前のめり

です。また、安倍元首相、日本維新の会は「非核三原則」を骨抜きにする「核共有」をいいだしています。JAMの政治方針は、日米安保条約とともに「専守防衛」「非核三原則」「シブリアンコントロール」を堅持し、平和外交によって日本の安全保障を守ることをめざしています。戦争の惨禍、核兵器の恐ろしさを体験し、日本は「平和国家」として歩んできました。「専守防衛」を超え、戦争の準備かともがうほどの防衛力整備を進めることは、周辺国との軍拡競争は際限なくなるし、平和国

家の看板を下ろせば、地域の安定は損なわれ、日本の安全をも危うくしかねません。参議院選挙では、立憲民主党を前進させ、自民党、日本維新の会の改憲のねらいを止めることも大きな課題です。「国連の気候変動に関する政府間パネル」第三作業部会は4月の報告書で、気候上昇を1.5度に抑えるためには、世界全体の温室効果ガス排出量を2025年までに増加から減少に転じる必要があります。2025年も参議院選挙となり、その時はJAMが候補者を準備します。

「人民の人民による人民のための政治」(リンカーン演説から1851年)は、民主主義の基本であり、私たちと政治の関係を一つにする言葉であります。

「選挙とは」私たちの代表を選び、私たちの意見・要望を反映させるためのもの。そのためにも、私たち一人一人が選挙に関心を寄せることで、政治はもっと身近になると思います。政治を左右する選挙の重みと責任は重要であると共に、「・・・

日本国憲法第15条で明記されている。」という憲法の精神に則っています。最近の国政選挙・各種地方選挙において、投票率の低下傾向が続いています。政治と選挙への関心の低さが垣間見えると私は思います。特に、令和3年10月に行われた第49回衆議院議員総選挙の投票率は55.93%、令和元年7月に行われた第25回参議院議員通常選挙では、国民有権者の過半数を下回る48.8%（年代別投票率で見ると10歳代が32.8%、20歳代が30.96%、30歳代が38.78%と若者・若年層が低い）と言う、過去25

年間で平成7年の44.52%に次ぐ2番目の低投票率となっています。私たちが含め有権者の多くは、政治への期待を失い、結果的に自公政権維持継続に利することになっています。「私の一票でどうせ今の政治や枠組みが一向に変わらない」と思っている人も、将来にわたり生活するすべての者が責任持てる政治創りのためには、「政治への参加・選挙と投票」を自覚し行動に移すことが必要であると思います。参議院議員通常選挙が目前です。上記の必要性を再認識し、政治と選挙に真剣に向き合い、個人として、組織人として全体的な投票行為向上の活動で、各種の選挙において棄権することなく権利と義務を必ず果たすことが急務であると思います。

参議院選挙で「村田きょうこ」候補予定者を国会に送り出し、「村田きょうこ」候補予定者の笑顔私たちが笑顔で迎えることができるように、JAMシニアクラブの会員の皆さんに、「村田きょうこ」候補予定者の支援者に必ず投票所へ足を運んでいただくことなど、現役と連携して取り組みを強化することをお願いします。

主張



選挙については、成年人者による普通選挙を保障する（全ての国民に選挙権が付与・

49回衆議院議員総選挙の投票率は55.93%、令和元年7月に行われた第25回参議院議員通常選挙では、国民有権者の過半数を下回る48.8%（年代別投票率で見ると10歳代が32.8%、20歳代が30.96%、30歳代が38.78%と若者・若年層が低い）と言う、過去25

私たちが含め有権者の多くは、政治への期待を失い、結果的に自公政権維持継続に利することになっています。「私の一票でどうせ今の政治や枠組みが一向に変わらない」と思っている人も、将来にわたり生活するすべての者が責任持てる政治創りのためには、「政治への参加・選挙と投票」を自覚し行動に移すことが必要であると思います。参議院議員通常選挙が目前です。上記の必要性を再認識し、政治と選挙に真剣に向き合い、個人として、組織人として全体的な投票行為向上の活動で、各種の選挙において棄権することなく権利と義務を必ず果たすことが急務であると思います。

参議院選挙で「村田きょうこ」候補予定者を国会に送り出し、「村田きょうこ」候補予定者の笑顔私たちが笑顔で迎えることができるように、JAMシニアクラブの会員の皆さんに、「村田きょうこ」候補予定者の支援者に必ず投票所へ足を運んでいただくことなど、現役と連携して取り組みを強化することをお願いします。

「村田きょうこ」必勝へ 各地で支援の輪が広がる

茨城シニアからの報告 副会長 井上純一

12月2日東京製綱労組土浦支部組合事務所において「村田きょうこin茨城」が開催され、茨城シニアクラブより、高石会長以下8名が参加しました。

東京製綱労組土浦支部長からの挨拶の後、村田きょうこさんから挨拶を頂きました。

このあと、村田きょうこ候補予定者と参加者の間で活発な質疑応答・意見交換

が行われました。高齢者福祉に対する考え方や後期高齢者の医療費について質問があり、何れも喫緊の課題で真剣に検討をしていると回答がありました。

今回支持母体が基幹労連ではあるものの、前回の参院選はJAMから擁立をし、その際基幹労連からの推薦もあつたが残念ながら当選出来なかったが、今回は必勝を期して村田きょうこ候補予定者の当選実現に向けた取り組みを進めて行きたいと思えます。



東京製綱労組土浦支部組合事務所前



新潟シニアクラブ幹事でYouTubeを視聴

新潟シニアクラブから報告

3月16日(水) 14時より第2回JAM新潟シニアクラブ幹事会を開催した。

報告事項、議案の確認のち幹事全員で、YouTube村田きょうこチャンネルを視聴した。続いてJAM新潟YouTubeチャンネルを視聴し、現役が作成した村田きょうこ応援動画を視聴した。その後会場にてJAM新潟シニアクラブ幹事自ら出演しての動画撮影を実施し、JAM新潟YouTubeチャンネルへ投稿した。

動画を視聴した現役世代からは、「先輩方の熱量はすごい、村田きょうこ必勝に向け現役世代も負けてられない、気持ちを新たにしたい」とコメントが寄せられた。

群馬シニアクラブ

基幹労連との合同対話集会 事務局次長 鈴木英二

基幹労連群馬県本部・JAM群馬合同の「2022村田きょうこ対話集会」が3月28日、群馬県勤労福祉センターで開かれた。

集会にはWEBを含めて60名が参加。JAM群馬シニアクラブからも2名が参加した。

決意表明で村田きょうこ候補予定者は「組織内議員がいれば皆さんが困っているときに電話一本で相談できる。どんなことでも相談してほしい。あらゆることが国会で決まっている。もの



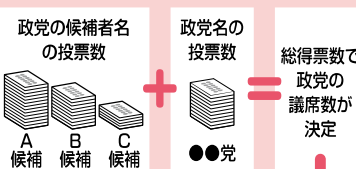
基幹労連群馬県本部 JAM群馬合同の対話集会

づくりの政策を実現するためにも組織内議員が必要」と支援を訴えた。参加者からは「若者が政治に興味を持つってもらうには」「ものづくり産業をどう守っていくのか」などの質問が出され、活発な意見交換が行われた。

比例代表選挙の仕組み

参議院の比例代表選挙は、政党の総得票数に応じて各政党の議席数が決定し、候補者個人名での投票数の多い順に当選が決まります。

政党の議席数の決まり方



候補者個人名を書くことで
当選させたい候補者を
応援できる!

「村田きょうこ」が国会議員として 実現したいこと

- ✓ものづくりの現場を守ります。
- ✓生活者目線で暮らしを守ります。
- ✓女性の思い、働く人の思い、みんなの思いを国会に届けます。
- ✓製品価値と労働の価値が適正に評価される社会をめざします。



村田きょうこ

JAM代表 第26回参議院議員選挙候補予定者

あなたの笑顔
みたいから

With You



組織内討議資料